

松山駅周辺まちづくりに関する土地利用勉強会

～ともに創る、多様な賑わいと潤いにあふれた松山のターミナル拠点～

かわら版 Vol.2

第2回松山駅周辺まちづくりに関する土地利用勉強会を開催しました！

良好で魅力的な松山駅周辺地区を目指し、松山駅周辺の具体的な整備の方向やイメージの検討等、地元主体のまちづくりを推進していくため、『第2回松山駅周辺まちづくりに関する土地利用勉強会』を平成29年9月27日(水)18時半から開催しました。

今回から、様々な視点でまちづくりを検討するため、学生やアーバンデザインスクール生、若手建築士にも参加していただきました。参加者は24名でした。

【当日のプログラム】

1. 開会
2. 第1回土地利用勉強会のふりかえり
3. 参考となる都市機能の導入事例について
4. ワークショップ
～将来のまちのイメージをみんなで考えよう～
テーマ『松山駅周辺で望まれる都市機能について』
5. 次回土地利用勉強会の開催予定について
6. 閉会

松山駅周辺で望まれる都市機能について、ワークショップで話し合いました！

今回のワークショップでは、4班に分かれて松山駅周辺に望まれる都市機能について、「松山駅周辺の居住者」や「松山駅周辺への来訪者」の視点に留意しながら、意見交換を行いました。

また、意見交換の後、各班の結果を発表していただきました。

■各班の発表の概要

【1班】

お土産店、飲食店の規模を大きくする、待ち時間の過ごし方について有名なじゃこ天の実演販売を残すなどの意見が出た。飲食店であれば、観光客が立ち寄りやすいお店や、地元から愛されるようなお店が良い。

また、松山らしさとして、足湯や、お城が見えるような展望スペースができたら良い。



【2班】

来訪者向けに、ベンチなどの休憩所を増やすことや、道後温泉があるので、気軽に利用できる足湯があると良い。また、観光案内所の拡充や、アパレルショップ、サイクリスト向けのシャワーや、リタイアした方が時間を過ごすブックカフェ、保育所のスペース等が駅の近くにあると良い。



【3班】

来訪者の視点では、全体的におもてなしが大事。交流の場となる足湯やビジネスマン向けのシャワースペースがあると良い。居住者の視点では、アミューズメント施設はあってほしい。駅に延長保育可能な保育園、避難場所になる公園、お年寄りが散歩したり、子ども連れのお母さんたちも交流できる公園ができたら良い。



【4班】

今のJR松山駅に賑わいが必要であり、道後、松山市駅、三津など、いろいろ賑わっているところと同じものを持ってくるのも一種の手である。JR松山駅は、JR線で四国すべてとつながっているの、その立地条件を最大限に生かすため、マルシェ等のイベントで賑わいを作っていくと、良い方向に進んでいくのでは。



ワークショップの総評

■アーバンデザインセンター ディレクター 尾崎 信 様

駅の周辺を考えると、周りの地区、他のまち、他のエリアとの関係を考えることが大事だと思う。つまり松山市駅とJR松山駅を比べてみたときに、どちらにどういう特徴があったらいいのだろうかという発想、もしくは、三津や道後と比べて、この松山駅周辺がどういう地区なんだろうと考えてみるのが大事。



■アーバンデザインセンター 副センター長 小野 悠 様

今日は自分の立場で、あるいは自分に近い人の立場でこういうものがあつたらいいな、もっと良くなるだろうなという視点で、アイデアを出していただいたが、松山市全体、四国全体、日本全体の中で、必要な機能を考えると、また新しい視点が出てくると思う。



第2回土地利用勉強会その他の説明概要

■参考となる都市機能の導入事例について

松山駅周辺のまちづくりを考える際の参考事例について、駅周辺の「賑わい」や「まちなか居住」に関するもの、低層部の集客機能や施設連携の工夫や松山駅周辺地区の特徴や課題に関連するもの、地元や民間のまちづくりに関するものなど、様々な工夫やまちづくりのアイデアを紹介しました。

■次回土地利用勉強会の開催予定について

次回（第3回）は、10月下旬に、地区全体の『機能構成とコンセプト案』についての意見交換を予定しています。資料として、今回の勉強会の結果を踏まえた、たたき台案を提示する予定です。

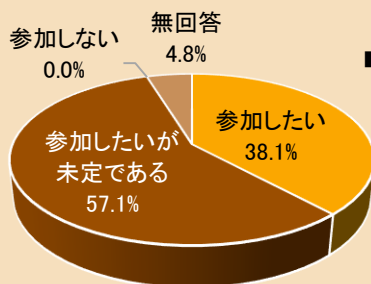
参加者からのご意見・ご要望

【土地利用勉強会アンケートの概要】

■第3回土地利用勉強会への参加意向

第3回土地利用勉強会への参加意向は「参加したいが未定である」が57.1%、「参加したい」が38.1%となっています。

また、開催希望日時は、「平日の夜」が61.9%、「土日の夜」が28.6%となっています。



■勉強会に対する意見・要望、議論したいテーマ

- たくさん意見を出し合えた
- 地元の方の参加がもう少し多くなれば
- 松山の古くささを残すか、新しさを求めるか、難しいなと感じた 等

■その他、ご意見・ご要望

- 来訪者にまた松山に来たいと思ってもらえる印象を与えられるまちづくりにしてほしい。
- 四国・中国をつなぐ位置にある松山駅は、もっと愛媛の魅力を発信するスポットになって良いと思う 等

土地利用勉強会に関するお問い合わせ

松山市都市整備部 松山駅周辺整備課（まちづくり担当）
TEL (089) 948-6467 FAX (089) 934-1807
松山市二番町四丁目7番地2 松山市役所本館7階
E-mail matsuyamaeki@city.matsuyama.ehime.jp